



認め合い ともに伸びよう

鴨島東中学校 第1学年便り 令和6年10月29日発行



充実した秋

実りの秋まっただ中になりました。「スポーツの秋」では、運動系の部活動で、北部Bブロック新人大会に出場し、先輩たちと力を合わせて戦いました。入学してから競技を始めて約半年、毎日練習してきた成果が出ています。「読書の秋」では、毎朝10分間の朝読で好きな本を読んだり、読み聞かせの方が教室を訪れて読んでくださるのを聞いたりしています。昼休みに図書室で図書委員が読んでくれる絵本を気持ちよさそうに聞くこともあります。「勉強の秋」では、中間テストで成績を伸ばしている子がいます。人権学習では部落差別に対し怒りを感じています。



検索 新_鴨島東中HP

主体的に取り組む授業

各教科で知識及び技能を磨く様々な授業が展開されています。主体的に学習に取り組み、いきいきと活動する姿が随所に見えています。

家庭科では調理実習をしました。包丁でリンゴの皮をむいて切り、フルーツポンチを作って食べました。家で包丁を使う練習をしてきた子や、見ていると指を切りはしないかひやひやすする子。友達同士で包丁の使い方を教えたり、洗いや椅子の片付けを率先して行ったり、とても協力できました。技術ではのぎざりや釘をぎこちなく使いながら、本立て制作に取り組んでいて、教えたり助け合ったりしています。美術では、漢字を絵にする作品作りをし、夢たまごの制作にも取りかかっています。想像力を働かせオリジナルの漢字を表現し、友達の独創性に驚いていました。音楽では、12月8日(日)の合唱コンクールに向けて、合唱練習を始めました。初めての合唱コンクールにとってもやる気を見せています。学活では、勉強方法の工夫を各班で調べて発表し、学ぶ目的を考え、様々な進路があることを知り、20年後の自分の夢をライフプランにまとめました。11月15日(金)には、本校の卒業生2名を招き、職業人としての講話を聴く予定です。



人権講演会～人権学習のよろこび～

10月25日(金)、講師に松茂中学校教諭の森口健司先生を迎えて、人権講演会を行いました。「自分の本当の思いを自分の言葉で語る、これが人権学習のよろこびです。」ということ、人権学習の時間の授業映像を見せながら、熱く語っていただきました。痛みや苦しみを分かち合える人が近くにいることがどんなに支えとなって強くなれるか、人権学習の語り合いによって繋がることを学ぶことができました。

○森口先生のお話を聞いて思ったことは、自分の個性を隠すのではなく、友達や家族と語り合うことはよいことだということだ。そして、自分の個性を真剣に受けとめてくれる人たちがいるのは、とても幸せなことだと思った。自分の過去を振り返ってみると、今まで自分の個性を他人に知られることはとても恥ずかしいと勝手に思い込んでいて、他人にも家族にも話すことはなかった。でも、勇気を出して自分の個性について仲のよい友達に話してみたら、友達は真剣に話を聞いて個性を受けとめてくれた。家族も同じだった。それから、私はそれまで心の中にあった不安や恥ずかしさがなくなり、もっと楽しい日常を送れた。こんな体験をしたことを森口先生のお話を聞いて思い出した。○森口先生のお話を聞いて印象に残ったことが2つある。1つめは、先生の人権学習の授業で語っていた吃音の男の子のことだ。私はテレビで吃音のことを知り、友達にもいる。友達が「吃音はつらい。」と言ったとき、私は何も言えなかった。先生のお話の中で、吃音の子に「個性があってかっこいいね。」と返した子がいたと聞いて、私はハッとした。私はあのとき友達にこの言葉が必要だったと気付いた。今度友達に会う機会があれば、そう言いたい。2つめは、本音で話すのはとても大切だということだ。私は本音で自分の気持ちを使えるのは難しいとずっと思ってきた。でも、どんなに難しくても言うことは素晴らしいと思った。なぜなら、本音で話すと共感してくれる仲間がいるし言うことは自分の自信に繋がると思うからだ。もし、共感してもらえなくても(多分そんな人は少ないが)、本音で言えた自分は素晴らしいと思う。誰かが私に本音で話してくれたら私は共感し一生懸命考えたい。たとえよいアドバイスができなくても、その子に寄り添える人に私はなりたい。



<保護者のみなさまへ>

1年生後半に入りました。中学校で受けるテストに慣れたのはよいですが、テスト勉強を十分行えてない子と勉強時間を増やして成績を伸ばしている子がいます。授業をよく聴いて、毎日の自主勉強ノートが効果的なものになるよう指導しています。2年半後の進路を1年生から意識させたいと考えています。